

# 2007年度 社団法人 天草本渡青年会議所

## 委員会年間事業報告書

委員会名：会員交流委員会

担当副理事長名：船場正和

委員長氏名：村本政司

副委員長氏名：江崎貴信

委員氏名：瀬形治、和田等、武部英広、山本尚、岡本幸一郎、中本太樹、  
藤野裕紀、船田大岳、段下倫、宮崎志武、赤城志学

### ・ 事業名【スマイル】

#### 1. 事業目的

総会・例会で数多くのメンバーに発言する機会を設ける。

#### 2. 実施日時・場所

例会時（年12回）・例会会場

#### 3. 参加人員

（内部）理事・役員 23名

メンバー 54名

その他 名

---

合計 77名

#### 4. 事業内容

(1) 各月の誕生者・入会者は、名前を呼ばれた方はその場に起立して、時計回りに発言して頂く。その後、自発的または指名され発言するメンバーはその場で発言して頂く。

委員会も率先して迅速に行動し、一人でも多くの方に発言して頂く。

#### 5. 手段

(1) 毎月、誕生者・入会者の紹介。そして各メンバーの会社のPR、近況報告などを行う。

#### 6. 成果

総会、例会での発言する機会をメンバー全員に設けられた。

#### 7. 引継事項

スマイルチケットは大変良いものだと思いますので飲食店以外での利用は出来ないか等、色んな事を再検討して下さい。

チケット利用促進には、毎月ごとの利用枚数の把握と発表をメンバーへの報告をしてみてもどうでしょうか？

自己PRだけではなく自社のPRも積極的に行ってください。

各協力店とのこまめな精算を行っていったほうが良い。

スマイルの発表は短時間で話をする場となっておりますのでスピーディな発表時

間の設定するなど再考する余地あり。

出来る限り全メンバーに発表の機会を与えられるよう毎月の発表者の確認を行われていた方が良いでしょう。

## ・事業名：【名寄JC交流】

### 1. 事業目的

名寄JCとの交流を深め、今後へと繋げていく。

### 2. 実施日時・場所

2007年3月14日、8月17日、11月17日発送

(社)名寄青年会議所 事務局送り

〒096-0013 北海道名寄市西三条南5丁目 商工会館1F

NPO法人なよろ観光まちづくり協会内

TEL(01654)9-6711 ・ FAX(01654)9-6712

### 3. 参加人員

(内部)理事・役員 23名

メンバー 54名

その他 名

---

合計 77名

### 4. 事業内容

(1) 社団法人名寄青年会議所のメンバー全員に堪能して頂くよう発送日、個数に配って発送する。

### 5. 手段

(1) 天草の代表的な特産物を3回に分けて送り、堪能して頂く。各種大会・コンファレンス等参加時には、真の交流を深めてもらう。

### 6. 成果

計画通りに特産物を送り運営出来た。

みかん、焼酎等の特産物を堪能して頂き、京都会議から全国大会、南北交流等十二分に交流出来たと思います。

天草の特産物を送る事で交流を深める事が出来たと思うし、ビデオレターを送る事で、「天草」の事を少しでも分かってもらえた。

### 7. 引継事項

次年度ブロック大会もありますのでメンバー全員が何らかの形で交流出来る様再考してください。

ビデオレターを作成する場合には十分な計画、シナリオ立てをしておいて下さい。

例年どおりでなく、天草には北海道にないものも沢山あると思うので、特産品にも変わったラインナップを考えてみては？また、交流の実感も感じられないのであれば工夫が必要です。例会をネットでつないでは？

互いのLOMの担当者・担当委員会同士がこまめに連絡を取り合って、まずは率先してコミュニケーションを育てて頂き、例会等で名寄JCの現状報告など行ったりされてみても面白いと思います。そして、ホームページを活用し

ての情報交換なども出来るのではないでしょうか。

・ 事業名：【地域交流事業】

1. 事業目的

メンバー・家族の交流・親睦を図り、人生を通して付き合っていける深い友情を育み、地域の方々にもアピール出来るよう努める。

2. 実施日時・場所

2007年6月24日(日) 清掃交流会8:40～10:00

ボウリング交流会11:00～12:30

懇親交流会13:00～15:00

清掃交流会：茂木根海水浴場一帯、農事研修センター・・・調理室・駐車場利用

ボウリング交流会：天草ボウリングセンター

懇親交流会：あまくさ村

3. 参加人員

(外部)天草勤労青少年ホーム「だるまの会」 9名

天草市青年農業者クラブ 12名

本渡岳友会 3名

佐伊津青年団 7名

(内部)理事・役員 20名

メンバー 16名

(内当委員会) 7名

家族(子供も含む) 28名

合計 95名

4. 事業内容

他団体と混合で1グループ5人程度の小グループを作り、清掃交流・ボウリング交流参加いただき、交流の機会をもつ。

5. 手段

(1)メンバー・家族ばかりでなく、地域の方々へも呼びかけて、協働する事業を実践する。

6. 成果

参加人数こそ少なかったが、他団体との密な交流・仲間作りが出来き、新鮮なネットワークが出来た。

皆で協力し、汗しながら一生懸命ゴミや海藻を回収することで、爽快感が得られた。

ボウリングでは、各チーム、ゲームに一喜一憂する姿があり、一体感が感じられ、LOMメンバーばかりでなく他団体との交流が自然に図れた。

懇親会では、ボウリング時よりもっと深い交流が出来、各団体間の相互理解が深められ、鋭気が養われた。

7. 引継事項

他団体に参加して頂く場合は、参加人数計画を団体の総会員数ではなく、事前におおよその当日の出欠状況を確認され、計画を立てられた方が運営上・予算上効率がよい。

委員会内でもっと役割分担を明確にし、事前の十分なシミュレーションを行なっておくと、当日スムーズな運営が出来る。

飲食物(お茶)を準備する事業の際は、参加人数や天候を十分考慮して無駄にならないように作って下さい。

交流事業で他団体・家族に同時に呼び掛けを行う場合は、十分な交流が図れる手段や手法をしっかりと協議しなければならない。

他団体に参加呼び掛けをする場合は、直接お会いして事業目的・内容を伝え、事業に対する想いを伝えた方が、参加促進に繋がる。

業者以外でメンバーより会社所有物の借用、会社等の敷地を使用させて頂く場合は、依頼時のお願いばかりでなく、事業終了後のお礼(予算計上のことも考慮して)もきちんとして行うべきである。

今回の交流事業は参加人数こそ少なかったが、身のある事業と実感しましたので、各団体との繋がりが途切れないように次年度以降、各団体との情報交換、そしてネットワーク作り、または交流を行って頂きたい。

この事業で作成したJC タオル(残数:156枚H19.1016 現在)は、対外的にPR出来る機会には有効的にどんどん活用してください。

事業当日配布する資料がある場合は、十分に委員会内での協議そしてシミュレーションを行っていないと予算と決算でかなりの差異が生じてしまう恐れがあります。

## 事業名：【天草ハイヤ】

### 1. 事業目的

メンバー・家族に踊りに参加していただき、踊り手と観客の心が一体となる瞬間を感じていただく。

### 2. 実施日時・場所

踊りの競演：2007年10月7日(日) 13:00～16:00

道中総踊り：2007年10月6日(土) 18:30～21:00

踊りの競演：天草市民センター大ホール

道中総踊り：国道324号線《天草市役所～天草信用金庫間》

### 3. 参加人員

(外部) 牛深青年会議所 17名

山仁田地区住民 1名

メンバー友人 2名

(内部) 理事・役員 16名

メンバー 19名

家族(子ども含む) 9名

合計 64名

### 4. 事業内容

(1) 数多くのメンバーが踊りの練習や総踊りに参加できるように、スケジュールを作成する。また、昨年簡素化した踊りを昨年より完成度が高くなるように練習を行う。

5 . 手 段

( 1 ) 踊りの統一を高めるために昨年の踊りを活用し、こまめな練習を行う。

6 . 成 果

踊りの競演では毎日の練習の結果メンバーが一致団結していた事。

道中総踊りではメンバー同士楽しく踊れた事。

子どもから40歳までの幅広い年齢層が祭りに参加出来た事。

踊りの競演、道中総踊り共に爽快感が感じられたというメンバーの声が多かった事。

練習時も新入会員が多くJCになじみやすい環境を作れた事。

7 . 引 継 事 項

委員会が熱くなければダメだと思いました。

練習でも本番でも絶対的なリーダーシップをとれる人が居たほうが良いと思う。

競演メンバーと道中メンバーが別々の意識で参加していたので練習は別々に分けなくても良いのでは？

練習日程の計画を十分に検討して日程表を作成されたほうが良い。

声を出している人、出していない人が居ないように声出しの練習も踊り同様徹底して行ったほうが良い。

踊りの競演については(社)天草本渡青年会議所として参加するので何らかの形で出来るだけ多くのメンバーで参加協力したほうが良い。

委員会の呼びかけが悪く、新会員の参加は少なかったのですが、実際参加してくれたメンバーにとってはより良い交流の場となっていました。是非、今後もこのような機会を活用して下さい。

事務局備品リストの作成など少しずつでも行っていかなければならない。

祭りの実行委員会にかなりのメンバーが入ってらっしゃいますので、この部分を十分考えて事業を進めていったほうが良い。

. 事 業 名 : 【 大 忘 年 会 】

1 . 事 業 目 的

メンバー・家族、各事業においてお世話になった方々の1年間の労をねぎらう。

2 . 実 施 日 時 ・ 場 所

2007年12月1日(土)19:00~21:30(受付開場18:30~)

海鮮問屋 天草市小松原町9-13 TEL0969-22-3716

3 . 参 加 人 員

(外部)牛深青年会議所 10名

(内部)理事・役員 22名

メンバー 31名

(内当委員会) 7名

事務局員 1名

家族子ども含む 46名

合 計 110名

#### 4. 事業内容

会員交流委員会が主となり、次年度担当委員会と連絡調整し、参加促進を図り、数多くの会員・家族が参加することで、和気藹藹とした雰囲気の中で一年の労をねぎらって頂き、来年の飛躍への糧として頂く。

#### 5. 手 段

(1) 会場の設営・準備及び次年度委員会への引継ぎ。

#### 6. 成 果

次年度地域交流委員会との綿密な連絡調整がとれ有意義な忘年会が行えた。早めの周知と積極的な呼びかけで数多くの参加があった。

#### 7. 引 継 事 項

次年度忘年会を担当される委員会との十分な連絡調整が必要です。特に余興の時間配分をしっかりと把握しておくことと余裕をもった進行に繋がります。

牛深青年会議所への案内文を郵送される場合は予算計上して下さい。そして、参加者名簿の項目に領収書の宛名記入欄を作成された方が良いでしょう。

#### . 事業名：【会員拡大】

##### 1. 事業目的

< 対内 >

(社)天草本渡青年会議所の維持・成長のため、新入会員17名入会を目標に各委員会、全メンバー一丸となって会員拡大を行う。同じ志を持つ仲間を増やし、LOMの活性化を図り、創立50周年時には会員100名を目指す。

< 対外 >

JCのしおりを作成して会員拡大を行うことで、候補者や地域の方々に(社)天草本渡青年会議所の活動を理解していただく。また会員拡大によって今まで以上に様々なJC活動が行える。

##### 2. 実施日時・場所

通年 LOMエリア全域

##### 3. 参加人員

(外部)関係諸団体 1名

(内部)理事・役員 23名

メンバー 54名

その他 名

---

合 計 78名

##### 4. 事業内容

(1) 会員拡大活動の推進

(2) J C のしおり、企業リストの作成

(3) 会員拡大会議の実施

## 5. 手 段

(1) 新入会員目標を当委員会 3 名、執行部・各委員会(7)が 2 名の合計 17 名とする。

(2) 目標達成日を 7 月 13 日までとする。

(3) J C のしおりを作成し、(社)天草本渡青年会議所の活動を理解していただき、入会の促進を促す。

(4) 企業リストを作成し、何処に候補者が要るかを理解して会員活動をすることで次年度以降にも繋がっていく。

(5) 各委員会の副委員長さんに当委員会とのパイプ役になっていただき、委員会開催前に候補者の進捗状況を確認し、その情報を全メンバーに目に見える形で発信する。

## 6. 成 果

委員会で 2 名の入会メンバーを迎えることが出来た。

## 7. 引き継ぎ事項

各委員会開催時に積極的に議題に挙げて取り組む必要がある。

## ・ 事 業 名 : 【 議 事 録 作 成 】

### 1. 事 業 目 的

( 対 内 )

例会での発言者の意図が正確に伝わるような議事録を作成し、正確な資料として記録を残す。

( 対 外 )

関係機関に提出する必要があるため。

### 2. 実 施 日 時 ・ 場 所

通年 ( 例会開催時 ) ・ 例会会場

### 3. 参 加 人 員

( 外 部 ) 関係諸団体 名

( 内 部 ) 理事・役員 23名

メンバー 54名

その他 名

---

合 計 77名

### 4. 事 業 内 容

( 1 ) 例会議事録の作成

### 5. 手 段

( 1 ) 議事録については、メンバーが手分けしてテープ及びレコーダーにより、効率的に作成する。

## 6. 成 果

- (1) ICレコーダーを活用することにより、委員会メンバーで手分けして、正確な資料として議事録を残すことができた。
- (2) 翌例会時に議事録を回覧することにより、出席できなかったメンバーにもその様子を少しでも伝えることができた。

## 7. 引 継 事 項

- (1) 次年度からは、例会議事録担当委員会において、電子データのみを作成し、総務担当委員会に提出、(議事録を作成後、電子データにて総務担当委員会に提出)印刷は総務担当委員会がまとめて行うようにしてください。

### 委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2006. 10.19	J C 会館	委員会名簿について 年間事業計画(案)について	8名	1名	80%
2	2006. 10.31	アルデンテ	委員会名簿について 年間事業計画(案)について スマイル事業計画(案)について	6名	4名	60%
3	2006. 11.17	J C 会館	委員会名簿について 年間事業計画(案)について スマイル事業計画(案)について 忘年会について	4名	6名	40%
4	2006. 11.28	J C 会館	委員会事業計画(案)について スマイル事業計画(案)について 忘年会について	6名	4名	60%
5	2006. 12.23	アルデンテ	委員会名簿について 牛深ハイヤについて 名寄J Cとの交流について	7名	3名	70%
6	2007. 1.19	J C 会館	委員会名簿について 牛深ハイヤについて合同練習及び 当日の案内文作成 名寄J Cとの交流について 例会議事録について	7名	3名	70%
7	2007. 1.31	J C 会館	委員会名簿について 牛深ハイヤについて合同練習及び 当日の案内文作成 名寄J Cとの交流について 例会議事録について	6名	4名	60%
8	2007. 2.13	J C 会館	牛深ハイヤについて 名寄J Cとの交流について	6名	4名	60%
9	2007.	J C 会館	牛深ハイヤについて	4名	6名	40%

	2.28		名寄ＪＣとの交流について			
1 0	2007. 3.4	アルデンテ	名寄ＪＣとの交流について	4名	6名	40%
1 1	2007. 4.3	ＪＣ会館	地域交流事業について	6名	4名	60%
1 2	2007. 4.12	ＪＣ会館	地域交流事業について 名寄ＪＣビデオレター作成につ いて	5名	5名	50%
1 3	2007. 4.18	ＪＣ会館	地域交流事業について 名寄ＪＣビデオレター作成につ いて	5名	5名	50%
1 4	2007. 5.2	ＪＣ会館	地域交流事業について 天草ハイヤについて	6名	4名	60%
1 5	2007. 5.22	ＪＣ会館	地域交流事業について 牛深ハイヤ事業報告について 天草ハイヤについて	4名	6名	40%
1 6	2007. 5.30	ＪＣ会館	地域交流事業について 天草ハイヤについて	8名	2名	80%
1 7	2007. 6.5	ＪＣ会館	地域交流事業について	4名	6名	40%
1 8	2007. 6.12	ＪＣ会館	地域交流事業について	8名	3名	73%
1 9	2007. 6.19	ＪＣ会館	地域交流事業について	6名	5名	60%
2 0	2007. 6.22	ＪＣ会館	地域交流事業について 天草ハイヤについて	6名	5名	60%
2 1	2007. 7.12	ＪＣ会館	天草ハイヤについて 牛深ハイヤ事業報告について 地域交流事業報告について	7名	4名	63%
2 2	2007. 8.4	ＪＣ会館	天草ハイヤについて 牛深ハイヤ事業報告について 例会議事録作成について	4名	8名	33%
2 3	2007. 8.10	ＪＣ会館	天草ハイヤについて DVD鑑賞 名寄ＪＣとの交流事業の ビデオレター作成について スマイルについて	5名	7名	42%
2 4	2007. 8.17	ＪＣ会館	地域交流事業 事業報告について 天草ハイヤについて	4名	8名	33%
2 5	2007.	ＪＣ会館	忘年会について	7名	6名	54%

	10.24		08 交流委員会合同 地域交流事業 事業報告について 天草ハイヤ事業報告について			
26	2007. 11.6	J C 会館	忘年会について 名寄J Cとの交流事業について スマイルの進捗状況について	6名	7名	46%
27	2007. 11.21	J C 会館	大忘年会出欠確認及び会場の打ち合わせ	6名	7名	46%

#### 委員長所見

一年間振り返ってみると実に充実した日々を送る事が出来ました。しかし頼りない副委員長で、委員会メンバーや多くの人にご迷惑をお掛けして申し訳なく思っていますが、メンバーの皆さんに支えられ、助けられてここまで来られた事に深く感謝しています。一年間本当に有り難うございました。

#### 担当副理事長所見

毎年のことですが、交流を目的とする事業を実施する場合には、メンバーはもとより家族、そして外部の方々の理解と参加協力なしでは、この委員会の本来の職務を全うすることが出来ません。今年一年を振り返ってみると年当初の委員会活動方針である積極的な事業への参加、会員交流の促進という部分に関して、満足のいく成果を得ることが出来ませんでした。それは、委員会メンバー自身が事業を創る大変さの中にある楽しさ・喜びを感じる事が出来なかったことが考えられます。担当として委員会メンバーの皆さんに(社)天草本渡青年会議所の活動の本質を伝えることが出来なかったことに大変申し訳なく、反省することばかりです。しかしながらこの委員会で経験した一年は、決して無駄に過ごした時ではありません。それは、どうすれば多くのメンバーに想いを伝え感じてもらえることが出来るのか、それが簡単なことではないということを痛感してくれたはずです。

今後、どのような場面であっても自分の信念をしっかりとって行動して行って下さい。そのとき必ず「思いやりの心」を忘れないで欲しい。そうすればきっと素晴らしい成果が生まれるはずです。

委員会メンバーの皆さんは、一年間よく頑張ってくださいました。ご迷惑ばかり掛けてしまいましたが、皆さんに助けてもらった一年に心より感謝します。